

総務省だからこそ できること

統計専門職
(政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官付)

武井 大

TAKEI Futoshi

平成16年 4月 総務省採用
統計局消費統計課物価統計室物価指数第一係
平成19年 4月 行政管理局行政情報システム企画課情報システム管理室
平成21年 4月 内閣府経済社会総合研究所景気統計部
平成23年 4月 統計局統計調査部経済統計課統計専門職
平成26年 4月 統計局総務課主査
併任 政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官付
平成28年 4月 現職

『政府統計の全体的な整備の推進に関わる仕事をしています』

政府統計の全体的な整備の推進に関わる仕事があることを、皆さんは、ご存じでしょうか？

各中央省庁で作成され、政策立案のための基礎データなどとして使用される統計ですが、社会経済情勢の変化とともに、求められる統計も日々刻々と移り変わっていくものです。そういった変化にも対応しつつ、『社会の情報基盤』としての統計の役割を果たすために、政府統計の全体的な整備について、定期的に計画し、その計画を着実に推進するための仕事に現在携わっています。

政府統計の全体的な整備に関する施策・計画は、統計が表す現在・未来・過去の集団の性質・傾向を正確に示すことへの追求はもちろんのこと、統計作成のために生じる国民への負担の軽減、他データの活用による効率的な作成、国際間比較可能性の確保、データのオープン化、ジェンダーなど、様々な視点から作成されています。

『総務省だからこそできること(実体験から)』

私が総務省に入省してからこれまで、政府統計の整備に関する施策・計画の推進、政府全体の共通的な情報システムの構築・運用など、中央省庁間の横の連絡・調整が密に必要とされる業務に携わりましたが、世間では縦割り行政などと言われている中で、そういった中央省庁横断的な仕事に携われるのは、総務省だからこそです。

また、金融政策で利用される日本の物価等の景気指標、様々な施策等に利用される国内の人口・世帯の実態の指標など、様々な要素・視点から日本全体を俯瞰できる統計の企画立案・作成、利用者の利便性に配慮した中央省庁統計ポータルサイトの構築・運用などの仕事に携わることができるのも、総務省の魅力の1つだと思います。

皆さんも、中央省庁の中でも総務省だからこそできる仕事に、私たちと一緒に携わってみませんか？

Some One Week

Monday

業務進捗と予定の共有。中央省庁間会議開催の資料等準備。

Tuesday

地方公共団体ヒアリングのための日帰り出張。

Wednesday

会議参加事業者・審議協力者に会議趣旨の事前説明等。

Thursday

会議開催後、次回に向け議事要旨・対応方針等の整理。



Friday

財務省主計局と統計予算の打合せ。来週以降の会議資料の検討。



Private Time

休日の天気の良い日は滑り台などの遊具のある公園・屋外施設で、悪い日は自宅・屋内施設で子供と一緒に遊びます。妻が職場に復帰し、育児に積極的に参加し始めた当初は、子供に常時神経を尖らせていましたが、想像以上の子供の成長に助けられ、この頃は一緒に遊びを楽しむことができてきました。